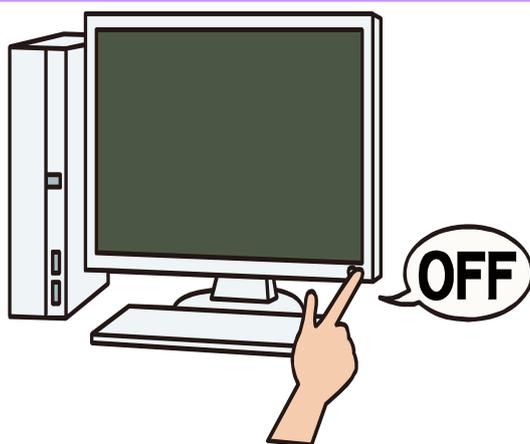


ふじのくに節電取組事例集

～県内事業所が実践した取組を紹介します～



平成 24 年 3 月
静岡県

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、多くの発電所に被害を与え、東京電力管内では震災直後から電力不足に対応するため計画停電が実施されるなど、産業や市民生活に大きな影響を与えました。

更には、夏の電力需要対策のために、政府は電力需給対策本部を設置し、大口需要家への電力使用制限を発動、小口需要家へも平成 22 年度の電力ピークと比べ 15%の節電を求めました。

事業者の皆様には、節電行動計画の作成や、実際の節電対策に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

節電の取組は、電力需要対策のためだけでなく、電気料金の値上がり等のコスト対策としても有効な手段として、今後も継続されることと思われます。

基本的な方法が示されている反面、実践する際には、アイデア不足になる、または取組継続のための情報が少ないという企業の声が多いことから、県では節電の様々な実施方法について、各事業者の方々の御協力のもと、他の事業者に紹介する本書「ふじのくに節電取組事例集」を作成しました。

紹介しているのは節電事例のほんの一部ですが、節電事例の他、助成事業の御案内や、節電・省エネ等に関する情報が配信されているホームページも併せて掲載いたしました。本書の内容が、御覧になった事業者の方々の節電・省エネ対策の一助となれば幸いです。

平成 24 年 3 月

静岡県くらし・環境部環境政策課

目次

節電事例

事例1	太陽光利用による電灯利用の抑制等 （工場・製造業 めっき部品製造）	1
事例2	屋根の断熱による節電対策 （工場・製造業 ガス器具用部品製造）	2
事例3	最適運用とコスト削減を考慮した取組 （工場・製造業 製紙）	4
事例4	煙道の塩化水素測定方法の見直し等 （工場・廃棄物処理業）	5
事例5	エコアクション2.1を基にした取組 （工場・製造業）	7
事例6	様々な節電対策 （工場・製造業）	8
事例7	執務環境見直しで35%の節電 （事務オフィス・その他）	9
事例8	支店、事業所の独自取組の推進 （事務オフィス・組合）	10
事例9	エコロジープロジェクトによる取組 （病院・循環器系医療）	12
県の取組	がんばろう日本！ふじのくに節電プロジェクト in 県庁	15

情報等

助成制度（省エネ関連）	17
節電、省エネに関する情報	19

事例1:太陽光利用による電灯利用の抑制等

富士市:富士メッキ株式会社

分野:工場
業種:製造業 (めっき部品製造)
従業員数:7名

対策の着眼点

事業の性質上、工程で電力を多く使用しているが、できることから節電を行うことを考えた場合、日中常時使用している照明部分について減らす方法を考えた。

外壁スレートの交換の際に、施工業者へ透過性の材質を打診したところ、通常材質と価格差がなかったため、工場内の明かり対策として採用した。

実施期間

平成23年6月～ 継続中

具体的な取組内容

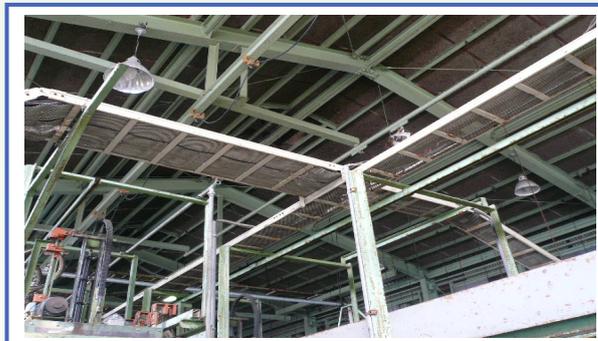
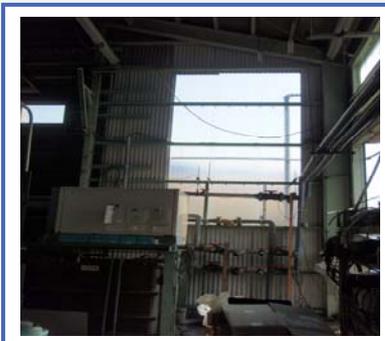
ポイント・その1

電灯使用から太陽光利用へ

壁面のスレート透過性をある材質とすることで、日中の電気使用を抑制

下:工場天井部水銀灯の様子
工場内の照度を必要とする場所のみ点灯し、他は消灯している。

右:工場内透過性材質の外壁
工場外壁側面を透過性材質に更新

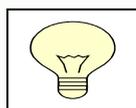


ポイント・その2

費用と効果

内容	費用
スレート透過材質交換 約15㎡	約40万円

効果



既設水銀灯

消費電力
従来
日中9灯利用
3.2kWh
×9灯
=28.8kWh

日中陽光利用

交換後
1灯のみ点灯

3.2kWh
晴天時太陽光
確保可能時

※水銀灯1灯 400W
日中8時間点灯 = 3200Wh
=3.2kWhで計算

今後の課題、目標

- ◎照明へのLED導入については、まだ高価であるため、様子を見ながら導入を検討しつつ、外壁補修の機会を活用し、順次透過型の材質にしていく。
- ◎冷却工程で使用するチラーについては、電気で冷却を行っているが、代わりに地下水や工業用水を引き込み、冷却を行うことで、電気使用量の抑制を行いたい。

事例2：屋根の断熱による節電対策

袋井市：株式会社早川製作所

分野：工場
業種：製造業（ガス器具用部品設計・製造・販売）
従業員数：84人

対策の着眼点

従業員の作業環境の低下を防ぎつつ、節電を行うため、工場外からの熱を室内に入れない対策を検討した。また、買電量を減少させるため太陽光発電システムの導入も行った。

工期等

屋根断熱塗装（1,000 m²） 約1ヶ月
太陽光発電システム（30 kW）約1ヶ月（中部電力連携確認検査込）

具体的な取組内容

屋根の断熱化

屋根の老朽化対策を兼ね、断熱効果の高い屋根塗装を行った。

施工仕様
屋根断熱塗装
発泡剤塗装
施工場所 工場 スレート葺屋根 (1,000 m ²)東西50m、南北15m



ここがポイント

- 屋根のメンテナンスも兼ねて計画...**
屋根のひび割れ等の補修時期に合わせて施工したため、屋根補修を兼ねることができた。
- 寒暖の差が大きいほど効果的...**（エネルギー管理士による省エネ診断結果より）
断熱効果が上がるため、外気温の変化が大きいほど効果を発揮する。
- 操業に支障なく施工...**
屋根上の作業のため操業を停止することなく施行可能

買電量の削減対策

太陽光発電システムの導入

- 太陽光発電システムの導入
出力 30kW



費用と効果

◎費用

屋根断熱塗装 545万円（税抜）

太陽光発電施設 1,680万円（税抜）

合計 2,225万円（税抜）

◎効果（エネルギー管理士による省エネ診断結果より）

屋根断熱による効果 年間 約 23,633 kWh 削減見込

太陽光発電による効果 年間 約 33,019 kWh 削減見込

事例3：最適運用とコスト節減を考慮した取組

富士市：B社

分野：工場
業種：製造業（製紙業）

対策の着眼点

抄紙機の稼働停止に伴い、原料や水、排水のバランスが変わるため、最適運用となるように、設備フローの見直しを行うとともに、コストをかけずにできる省エネ対策を検討した。

取組期間

平成23年6月中（夏場（7月～9月）の使用制限対策として実施）

具体的な取組内容

ポイント・その1

求められる即応性

夏場の電気使用制限に対応するため、短期間でかつコストを抑えた対策を実行

- ポンプランナーのカット **60kWh 削減**
- アジテータ羽角度変更 **12kWh 削減**
- 配管ラインの変更 **15kWh 削減**
- 排水設備の運用適正化（運転台数減、系列停止等） **435kWh 削減**

費用

- ・ポンプランナーカット 150万円
- ・アジテータ調整 4万円
- ・配管ライン変更 20万円
- その他の取組は発生コスト無し

ポイント・その2

オフィス部分の対応

- 事務所蛍光灯の間引き 0.8kW 削減
- 自動販売機の省エネモード設定(50台) 4.2kW 削減
- パソコンの省電力設定(180台) 1.1kW 削減

今後の課題等

電気料金の値上や、電力使用制限の実施に対応するため、省エネ活動の重要性は高い。省エネ実施箇所の洗い出しと、施設の最適運用の検討・実施を進めたい。

事例4:煙道の塩化水素測定方法見直し等

富士宮市:(株)ミダック富士宮事業所(旧(株)ミダックふじの宮)

分野:工場
業種:廃棄物処理業
従業員数:30人

対策の着眼点

機器の更新にあたり、エネルギー管理士による省エネ診断を実施した結果、以下の2点の対策を講じることで、電力使用量の低減を図ることとした。

- ① 塩化水素測定機器を、従来の試料吸引採取方式から、加熱導管が必要無い直接挿入方式へ変更
- ② エアークンプレッサーのインバーター制御によるエア供給量の適正化

具体的な取組内容と効果及び費用

塩化水素測定機器の方式変更

従来の試料吸引式の測定方法から、「レーザーガス分析計」による直接挿入方式に変更

費用	約 1,000 万円 (工事費含む)
設置工期	約 1 週間

従来型(試料吸入採取方式)



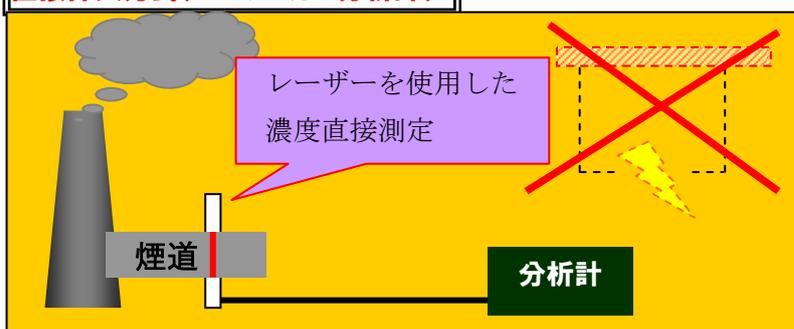
- 試料採取器により煙道からガスを採取し離れた場所にある測定器まで吸引ポンプで導引し分析を行う。
- ガス導管保温に電熱線を利用している他、吸引ポンプでも電気を使用

年間電気使用量

15,456kWh/年

※2kW×24h×322日/年

直接挿入方式(レーザーガス分析計)



- レーザーセンサーを用いて煙道で直接測定
- 吸引ポンプや保温電熱線が必要無いため、消費電力が大幅に減少

年間電気使用量

193kWh/年

※0.25kW×24h×322日/年

従来型と比べ約99%削減

エアーコンプレッサーのインバーター化

既設 4 台のうち 2 台をインバータータイプのコンプレッサーに更新し、ラインの見直しを行う

費用	2 台分 約 1,200 万円 (工事費込み)
設置工期	約 1 ヶ月 (基礎工含む)

改善前
使用電力

1,385,010kWh/年

改善後
使用電力

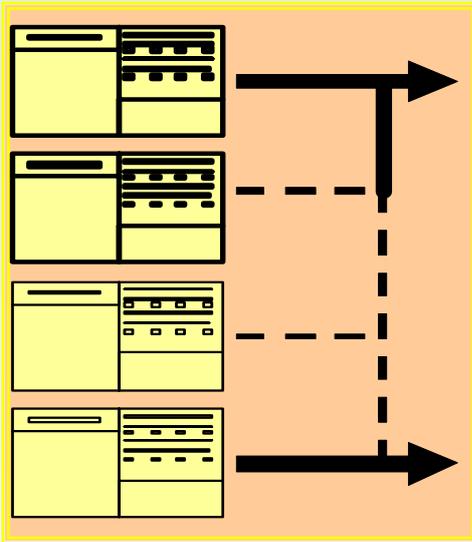
1,020,360kWh/年

参考: 今回の改善で削減される見込みの電気料金
約 400 万円/年 (11 円/kWh)

364, 650kWh/年の削減

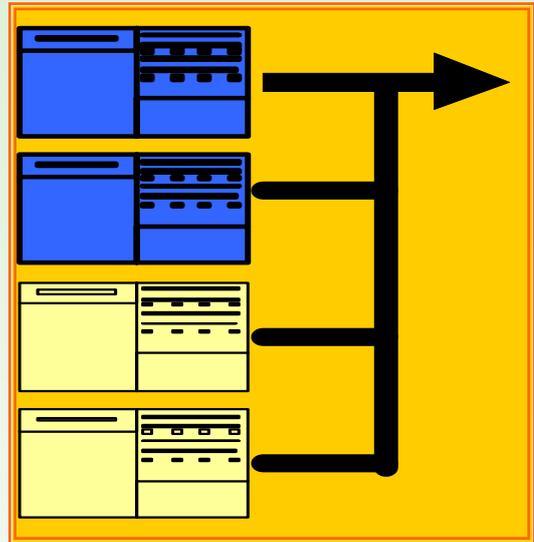
約 26%削減

改善前



・ 負荷変動に対する空気の流量調整を、4 台のコンプレッサーの ON・OFFで行うため微調整ができず動力ロスが大きい。

改善後



・ 2 台を固定運転として、流量調整をインバーター式コンプレッサー 2 台で行うことで必要量に対応した空気を供給できる形に改善。

その他の節電に関する取組

- ◎ ISO 14001 に基づく省エネルギーの推進
- ◎ ポスター等による事業所内の節電啓発

事例5：エコアクション21を基にした取組

御殿場市：A社

分野：工場
業種：製造業

対策の着眼点

日常の省エネ、環境配慮についてはエコアクション21の環境方針に基づき実施している。

平成23年は、これに併せて、政府要請に従い、平成22年度比15%節電の取組を実施した。

節電実績

平成22年度との比較

平成23年7月	26.9%減
8月	35.0%減
9月	8.5%減

具体的な取組内容

電力消費の平準化

設備立ち上げ時に一度に電源を入れず、設備の立上順を考慮することで、電力の使用量の平準化を行った。

節電のための休業

夏期の電力使用量を抑えるため、夏期の営業日を休日として、休業分は10月にシフトした。節電効果はあるが、営業日の減少となるため売上に影響した。

各部門での使用電力量の「見える化」

工程各部門での使用電力量を示し、各工程従業員へ電力使用の自覚を促した。

電化製品、空調等

- 電化製品の使用抑制
- 空調機室外機への日よけを設置し冷房効率を向上

今後の課題、目標

- ◎エコアクション21の取組を継続することで、省エネルギー・環境配慮に努めたい。
- ◎節電については、平成23年以上の結果を出すことを求められると、設備投資等費用がかかることになり厳しいと考える。

事例6:様々な節電対策

富士宮市:C社

分野:工場
業種:製造業

対策の着眼点

節電要請（15%削減）を実現することを目標として、大きなコストをかけずに対策を実施した。

節電実績

平成22年度比16.8%の削減達成

具体的な取組内容

様々な取組

- 蛍光灯間引き（約30%の照明で実施）
- エアコン設定温度調整（26℃で使用⇒28℃に設定）
- 乾燥機使用削減（天日乾燥）
- コンプレッサー建屋の遮熱塗装
- 天井のサーキュレーター稼働停止
（稼働していると、上部の熱気が下りてくるため冷房効率が低下する。）
- 窓ガラスへの遮熱フィルム貼付
- 設備待機電力削減（帰宅時に完全停止）
- 電力デマンド装置による監視
- コンプレッサーの稼働効率を最適化するため、タイマー稼働を行い、余分な稼働を抑える。

苦労した点

- 従業員の節電意識の向上、継続
平成23年は東日本大震災の報道等が影響し、節電意識の助けとなったと考える。

今後の課題、目標

- ◎東京電力が17%値上げを行うため、これを相殺する取組を行いたい。
- ◎今回はコストを要しない取組が主であったが、更なる節電対策には新たな取組が必要と考える。

事例7: 執務環境見直しで35%の節電

伊東市: 伊東商工会議所

分野: 事務オフィス
業種: その他
職員数: 13名

対策の着眼点

節電要請に対して、身近な部分で対応可能な取組を実施

節電実績

前年比で15%の節電目標に対して35%の節電 (平成23年8月 1ヶ月分)

具体的な取組内容

照明対策の徹底

点灯蛍光灯の約半分の間引き消灯を実施

128本 → **62本**

事務室は3分の1、車庫、ロビーは全消灯

室内温度の管理

室温の28℃設定

扇風機の活用

掲示と来客者への協力呼びかけ

来客、従業員の協力を促すため、各所に手作りの啓発ポスター等の掲示を実施

節電実績

照明OFFと空調のみで **約35%の節電**

前年
9,146 kwh

平成23年度
5,873kwh

執務室消灯状況 (3分の1消灯)



左: 館内掲示ポスター 右: エレベーター掲示ポスター

今後の目標等

節電の取組は今後も続くと思われる。
職員一同協力して引き続き節電を心がけていきたい。

事例8:支店、事業所の独自取組の推進

沼津市:南駿農業協同組合

分野:事務オフィス
業種:その他(組合)
職員数:538名

取組への動機

農協として節電への協力について基本的な事項が農業協同組合中央会から示され、具体的な行動については、各支店、事業所で独自に節電対策を講じることとなった。

節電実績

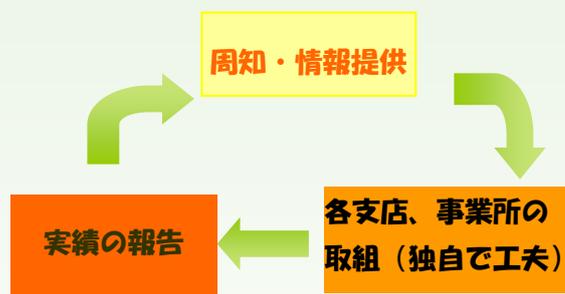
本店 昨年度比 27%削減 (7月~9月)
その他 32の支店、事業所においても 15%以上を達成した。

具体的な取組内容

全体の取組

節電目標、取組協力に関する周知と報告

取組の周知・情報提供から始まり、節電の取組の実施と報告、更にこれを周知することで、職員の意識を高める。



本店での取組

照明の間引き点灯

業務に支障の無い範囲で照明の間引き点灯を行う。

緑のカーテンの設置

設置場所	玄関正面ガラス
植栽植物	ゴーヤ、クレマチス、トロピカルフルーツ
費用	植栽業者による設置株、用土、網等セット 約5万円
効果	○日射を防ぐことによる室温上昇の抑制 ○視覚的效果

緑のカーテンの設置状況



◎本店他 8 店舗で実施(規模により費用は差がある。)

その他の支店、事業所の取組

独自の取組

- 支店、事業所それぞれで独自の取組を展開

全支店、事業所で前年比15%以上の節電を達成

南駿農業協同組合の支店、事業所のうち、20%以上の節電実績があった一部支店、営業所の取組内容

支店・事業所	取組内容	前年比削減率
南部センター	・時間外勤務の減少 ・打ち水 ・窓を開ける	23.4%
西 浦	・西側の排煙用窓を開放し、エアコンの使用時間を短縮 ・駐車場に散水する	
静 浦	・1階の蛍光灯本数を60%削減 ・エアコンの使用を1時間削減する	25.8%
金 岡	・団扇・ドリンクサービス ・出入口口へ打ち水 ・緑のカーテン(クレマチス)	20.6%
西部センター	・緑のカーテン(ゴーヤ)	28.6%
愛 鷹	・打ち水 ・扇風機 ・うちわの活用 ・残業を極力しない	
東部センター	・蛍光灯の点灯本数は40本から15本とする ・エアコンの使用を控える	25.5%
長 泉	・旧式冷蔵庫2台を使用禁止 ・月曜日と水曜日をノー残業デーとする ・防犯上の問題が発生しない程度の通風と扇風機による空冷	
北部LPガスセンター	・網戸の設置とブラインドの交換 ・事務所周りの水まき	27.8%
北部センター	・緑のカーテン(ひょうたん・ゴーヤ) ・生活倉庫シャッターを半分開ける(自然光をとりいれ照明を節約)	29.7%
富 岡	・緑のカーテン(あさがお) ・でんき予報の確認 ・主電源を切る ・玄関先へ打ち水 ・エアコン(冷蔵庫)の温度設定	
裾野西	・緑のカーテン ・扇風機をロビーに2台設置・駐車場への打ち水	22.8%

今後の課題、目標等

節電は今後も継続が必要となると考える。引き続き節電意識を維持して取組を続けたい。

照明については、順次 LED 化を推進したい。

事例9:エコロジープロジェクトによる取組

清水町:医療法人宏和会 岡村記念病院

分野:病院
業種:医療(循環器系)
職員数:約150人(非常勤等含む)

対策の着眼点

病院の建て替えを機会として、コスト削減を進めるための取組を展開する中で、積極的な省エネやエコ活動を考慮した形での取り組みをプロジェクトとして構築した。

循環器系の医療器具については大電力を使用することもあり、この部分の節電は不可能なことから、できる部分で最大限努力を行うこととした。

取組期間

平成20年～現在継続中

節電成果 (7月、8月)

平成22年度比5%削減目標に対し 10%削減

具体的な取組内容

エコロジープロジェクト

コスト削減からエコ活動へ

- 病院建替をきっかけにコスト削減を目的としていた節約の取組を、省エネ、エコ活動へ一歩進めて「エコロジープロジェクト」として立ち上げた。
- 平成23年の夏は、東日本大震災の影響による節電要請について、病院としては電力の規制緩和により、前年度比0%の節電とされていたが、自主目標を設定してでき得る範囲での節電を実施した。

職員への効果的な省エネ・節電啓発

情報提供と対話

- 全職員で統一見解をもつこと
目標の設定について、定期的に啓発する。また、1年間の電気使用量の前年比較や、電気代の推移等を定期的に見せることで、節電意識、コスト意識の向上を図る。
- 目をひくこと
ポスター、グラフ等で目を引く形での情報提供を心がける。
- 話し合う
会議という形でなく、時間が空いた時に「気軽に」話をする事で、現場側と管理側で密接な意見交換を行う。

エコロジープロジェクトの取組

年月日	活動内容	報告
5月中旬	水道光熱費の使用状況報告	月別に半年間分まとめて
6月9日	院内研究発表会にて発表	テーマ: 「岡村記念病院の省エネ力」
7月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	・21年度より30%削減目標
7月31日	岡エコ院外活動 第1回 柿田川清掃奉仕活動	・年2回実施 主催:清水町、 柿田川湧水保全の会
8月	院内向け岡村だより(夏号)掲載	エコ活動報告(院内研究・柿田川清掃)
10月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	
11月8日	・電気使用量から見た年度別CO ₂ 排出量の報告	・平成19年の旧病院から22年度までのガス・電気料から見たCO ₂ 排出量を算出し、比較した材料を報告。
12月中旬	水道光熱費の使用状況報告	月別に半年間分まとめて
1月7日	岡エコ耳よりな情報 (冬季の省エネ対策について)	・節電を身近なところから始めてみよう。 (蛍光灯・空調設備等省エネ)
1月中旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	・21年度の使用料よりコストが若干ダウン。
23年 2月5日	岡エコ院外活動 第2回 柿田川清掃奉仕活動	・年2回実施 主催:清水町、 柿田川湧水保全の会
4月下旬	事務消耗品月毎の経費報告 (用紙・インク・コピー関連)	

「目をひく」情報提供

- 色や図、身近なデータを使って職員の目を向かせる。

電気使用量と二酸化炭素排出量

電気使用量から見た年度別CO2排出量の報告

(19年度の旧病院～20年以降の新病院)

作成:総務課 22.11.8

このデータは、年間の電気・ガスの使用量からCO2の排出量(t-CO2)を算出し、19年度の旧病院の面積(約3,000m2をベースに新病院の面積(約6,000m2)の1m2あたりからのCO2排出量を算出して比較しました。

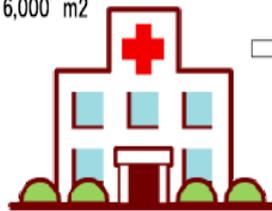
※年度は4月から翌年3月まで

平成19年度(旧病院) 電気・ガス(LPG・13A)		平成20年度(新病院) オール電化		平成21年度 オール電化		平成22年度 オール電化	
電気使用量(kWh)	860,388	電気使用量(kWh)	1,432,488	電気使用量(kWh)	1,377,144	電気使用量(kWh)	1,430,043
LPGガス(m3)	5,286						
13A都市ガス(m3)	24,267						
合計年間CO2排出量(t-CO2)	382	合計年間CO2排出量(t-CO2)	486	合計年間CO2排出量(t-CO2)	467	合計年間CO2排出量(t-CO2)	485
1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.127	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.08	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.078	1m2あたりのCO2排出量(t-CO2)	0.081

3,000 m2



6,000 m2



旧病院と比較し63%低減

旧病院と比較し61%低減

旧病院と比較し64%低減

※:上記の使用量は、22年4月～10月までの月平均×12ヶ月で算出したものです。(23年3月までの想定数となります)

旧病院の1m2あたりのCO2の排出量 0.127より、新病院では0.08と63%低減され、21年度0.078で61%低減、22年度については見越しの使用量で算出すると、0.081と64%低減となるのではと予想されます。旧病院より、新病院ではオール電化により、かなりのCO2の排出量をカットすることが出来ました。今後は、1%とでも低減出来る様、各科ムダな電気の削減にご協力下さい。

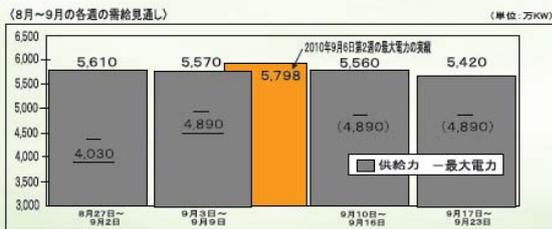
こまめな節電実績や、具体的な取組についての情報提供

岡エコから
第2報

岡エコでは、職員みんなで節電アクション推進

引き続き節電へのご理解・ご協力を！！

夏の暑さもやピークを過ぎ、季節は秋に変わりつつありますが、まだまだ残暑の厳しさを感じます。
東京電力より9月26日に「今夏の電気需要見通しと対策について(第12報)」のお知らせがホームページで紹介されていました。内容は、8月27日～9月23日までの期間を約1週間区切りで需要の見通しをまとめ発表された。
計画停電の不実施・災害による東北地方の電力需給バランスの緩和を継続していくため、広く社会の皆様へ節電へのご理解とご協力をお願いしており、当院としても引き続き節電の協力をしていきたいと考えています。



暑い夏もう少しておわりですが、もうひと踏ん張り！

各科で出来る節電の4つのポイント

- ① エアコンで節電！** 設定温度・風向きを調節して節電！
- ② 照明で節電！** 明るさや点灯時間を調節して節電！
- ③ 省エネ行動で節電！** 電気の使用は必要最小限に！
- ④ ノー残業デーの推進！** 明るい時間に働いて、暗くなったら帰る！

ハード面の

- ① エアコンで節電！** 設定温度・風向きを調節して節電！
 - ・冷房時の温度は27℃
季節を考慮し、冷房の温度は、27℃を目安にしましょう。
 - ・風向きは上手に調節しよう
風向きが適切であれば、風が体に当たると涼しく感じます。
 - ・フィルターの清掃はこまめに
フィルターはこまめに清掃しましょう。
目詰まりしたフィルターは、冷房時の効果が下がります。
無駄な電気を使います。
- ② 照明で節電！** 明るさや点灯時間を調節して節電！
 - ・開閉式の点灯をする
窓などがあり、明るさが十分に確保されている場所は、照明器具の数を減らす事も節電につながります。
 - ・点灯時間を短くしよう
必要のないあたりはこまめに消しましょう。
必要なお手洗い場にはセンサー付きの照明器具を貼ります。
 - ・照明器具の清掃で明るさアップ
ランプが汚れると、明るさが徐々に低下します。
人の出入りする場所などは汚れやすいため、こまめにお手入れしましょう。
- ③ 省エネ行動で節電！** 電気の使用は必要最小限に！
 - ・エレベーターの使用を控える
急ぎの場合は階段を利用する。また、なるべく一台に乗り切の工夫をしよう。(休日の昇降機は必ず乗る)
 - ・OA機器のこまめなスリープ
使用しないパソコンやOA機器は必ず電源をオフにしよう。
コンセントからプラグを抜けば待機電力も減らすことができ、より節電です。
 - ・1日1時間、使用時間を減らした場合の省エネ効果(年間)
・デスクトップ型 電気31.57kWh、原油にして7.90L、CO2削減量13.2kg
・ノート型 電気5.40kWh、原油にして1.38L、CO2削減量2.3kg
※電力の排出係数0.419 t-CO2/kWhで試算
- ④ ノー残業デーの推進！** 明るい時間に働いて、暗くなったら帰る！
 - ・ノー残業デーを推奨しよう
「明るい時間に働いて暗くなったら帰る」を目標にしましょう。
残業しない日を決めることで、夜間の消費電力を効果的に削減出来ます。

経済産業省の節電アクションにエントリー(節電計画提出)しました

只今、事業者向け節電サイトに掲載中！！

サイトへは、<http://jigyosetsuden.go.jp/plan/user/hjeyi3.html>

閲覧数を増やして、当院のトロフィーをランクアップしましょう。
※このサイトは、閲覧数が増えれば増えるほどトロフィーがランクアップします。
多くの人から見てもらうことにより、トロフィーの色や大きさが変わるシステムです。

15%削減

岡エコプロジェクトチーム 2013.2

ハード面の取組

窓への遮熱フィルムの施工

開口部となっている窓への遮熱フィルムの貼り付け

遮熱フィルム施工	工事費	170万円
	施工面積	約200㎡
	工期	約1ヶ月



受付窓口のLED照明

使用頻度が高い受付窓口へのLED照明の設置
(ダウンライト型)

工事費	約22万円 (5ユニット設置)
工期	約半日



苦労した点

- ◎入院患者の方々への配慮や、医療機器の稼働のため、思い切った節電ができない分、職員各個人の努力により節電を進めたこと。
- ◎節電意識の継続のために、こまめな情報提供を行ったこと。
- ◎職員に対し、自宅と同じ意識で節電に協力するように啓蒙活動を継続したこと。

今後の課題、目標

職員に実施して欲しいことや、伝えたいことは目に見える形にして示さなければ職員の意識に残らない。

平成23年度は東日本大震災の影響により職員の節電意識も高かったが、この節電意識を維持していくためにも、引き続き実施した結果を様々な形で残し、職員に情報提供を行っていく。

右:事業所全景



県の取組:がんばろう日本！ふじのくに節電プロジェクトin県庁

全ての県有施設を対象とした取組

県では、東京電力管内においては政府の方針に従い節電に取り組むとともに、中部電力管内においても原則「平成22年度比15%の節電」を目標に掲げ、「がんばろう日本！ふじのくに節電プロジェクトin県庁」として、率先した節電に取り組んだ。

具体的な取組内容

◎節電行動計画の策定

県有施設ごとに「平成22年度比15%の節電」を達成するための行動計画を策定

行動計画に示された主な内容

■電気の使用時間の短縮

取組項目	内容
空調、照明の稼働時間の短縮	・7月から時差通勤を休止し、空調、照明の稼働時間を1時間短縮
消灯時間の早期化	・毎週水曜日及び毎月第3金曜日を一斉定時退庁日として、原則午後6時に消灯

■電気の使用量の抑制

取組項目	内容
電気を大切に使う	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズの徹底（冷房設定温度28度の厳守） ・時間外勤務スペースの集約 ・照明機器の概ね半分を消灯 ・電化製品の使用抑制 ・エレベータ利用の抑制と効率化 ・入居団体や自動販売機設置者への節電要請
休暇取得日数の増加	・夏季休暇+3日以上での休暇取得
職員の節電意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・使用電力量を「見える化」 ・職員の率先した節電行動や、アイデアをデータベースに登録し職員の意識改革を推進
節電リーダーの設置	・各課に節電リーダーを設置し、職員に対し取組を徹底

節電成果

◆7月から9月までの節電取組成果

区分	本庁舎	総合庁舎	その他の施設
7月	31.7% (17.3%)	24.4%	17.9%
8月	34.0% (19.8%)	21.8%	17.1%
9月	30.1% (16.6%)	26.0%	17.1%

※本庁舎の（ ）内は、経済産業省の制限緩和措置に準じ節電対象から除外される警察・防災通信設備等常時稼働電力を含めた場合

職員の率先した取組、アイデア

節電行動計画で策定した節電行動を推進するとともに、職員が実際に行った節電行動の取組や、アイデアを職員共有データベースに登録しました。その中からいくつかの事例を紹介します。

取組名	具体的な内容
臨時申告窓口の設置	県税の申告が多くなる月末に総合庁舎玄関に臨時窓口を設置し、エレベーターの使用率を削減
緑のカーテンの設置と苗の配布	農業技術研究所において、緑のカーテンの設置促進のため、所内の利用されていないプランターや土、肥料を利用し、ゴーヤ苗を育成配布。13箇所にて109株を配布し、緑のカーテンの設置増に貢献
照度計で確認しながらの照明間引き	照度計を使用し、雨天時や夜間でも、労務環境に影響しないレベルまで間引きを実施した。執務スペースの60%以上を常時消灯とした。
農業用遮光シートを使用した遮光カーテンの設置	<ul style="list-style-type: none">・窓ガラスからの太陽熱を防ぐため、農業用遮光シートを窓外へロープ等を利用した遮光カーテンとして活用する。・ブラインドと比べ、使用時に室内で感じる圧迫感も減少した。
空調機室外機への自動散水（アイデア）	<ul style="list-style-type: none">・空調機の熱交換器への散水を行うことで冷却効率を向上させる。・散水装置はガーデニングに使用する散水スプレーとタイマー、塩ビ管で簡易的なものを作成する。
庁舎階段への消費カロリー表示（アイデア）	県庁や出先機関の階段に階段利用時の消費カロリーの目安を表示する。節電のために階段を使うというマイナスイメージから「健康」や「ダイエット」のために階段を使うプラスイメージへ転換する。

今後の課題、目標

- ◎省エネを念頭に置いた施設改修、更新の推進
- ◎施設の運用改善に関する技術フォロー
- ◎職員への啓発（行動の意義の明確化→節電・省エネ意識の向上）
- ◎各施設への情報提供（節電の取組方法、国・他自治体の情報等）

助成制度(省エネ関連)

平成24年度の助成制度のご案内です。予算等の状況により、内容が変更される場合もありますので、申し込みの詳細については、ホームページをご覧ください。各問い合わせ先へ御照会をお願いします。

県の助成制度

名 称	事業所用太陽光発電設備等導入支援事業費補助金
概 要	太陽光発電設備（定格出力10kW以上）、小型風力発電設備（定格出力5kW以上）、中小水力発電設備（定格出力3kW以上）の導入に対して補助金を交付
補助対象	中小企業、団体（社会福祉法人、学校法人含む）
補 助 率	事業費の1/10以内（上限100万円）
問い合わせ先	企画広報部エネルギー政策課 電話：054-221-2455（代）

名 称	温室効果ガス削減対策事業費補助金
概 要	温室効果ガス削減のための高効率機器導入及び設備改修（高効率ボイラー、高効率コンプレッサー、機器運転制御装置など）
補助対象	中小企業の営む事業所で、省エネ法で規定する「エネルギー管理指定工場等」であるもの
補 助 率	事業費の1/4以内（上限20,000千円）
問い合わせ先	くらし・環境部環境局環境政策課 電話：054-221-3781 ホームページアドレス http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-030/earth/hozyokin/hozyokinshinsei.html

名 称	新エネ・省エネ設備等導入促進資金
概 要	新エネ・省エネ設備等の導入によりエネルギー転換を図ろうとする中小企業等に対する低利融資
融資対象	新エネ・省エネ設備等を導入しようとする中小企業者（個人、会社、医療法人）、組合
融資限度額	1億円
問い合わせ先	経済産業部商工業局商工金融課 電話：054-221-2513 ホームページアドレス http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-540/seido/index.html

国の助成制度（省エネ、新エネ、節電）

国の助成制度は種類、対象事業、補助要件が様々ですので、下記ホームページを参照してください。

経済産業省関東経済産業局

ひとめでわかる支援策ホームページ

<http://www.kanto.meti.go.jp/tokei/hitome/hitome.html>

環境省

地方公共団体・事業者向け補助金

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local.html

太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス利用などの新エネルギー等設備の導入

一般社団法人新エネルギー導入促進協議会

<http://www.nepc.or.jp/>

省エネ設備導入支援

一般社団法人環境共創イニシアチブ

<http://sii.or.jp/>

燃料電池（エネファーム）導入支援事業等

一般社団法人燃料電池普及促進協会（FCA）

<http://www.fca-enefarm.org/>

この他、市、町についても助成制度がある場合がありますので、事業所所在地の市役所、町役場へお問合せください。

節電、省エネ等に関する情報

政府、環境省、経済産業省

エネルギー施策の検討状況

内閣官房国家戦略室「エネルギー・環境会議」

<http://www.npu.go.jp/policy/policy09/archive01.html>

環境省 節電アクション・クールビズ・ウォームビズ等

チャレンジ25キャンペーン

<http://www.challenge25.go.jp/index.html>

経済産業省

節電～電力消費を抑えるには

<http://www.meti.go.jp/setsuden/>

節電事例の紹介

財団法人省エネルギーセンター

ホームページ 「東京都環境局事業 節電アドバイス事業」

<http://www.eccj.or.jp/tokyo-advice/01/01.html>

節電の取組（家庭）

静岡県地球温暖化防止活動推進センター

<http://sccca.net>

ふじのくにエコチャレンジ

<http://f-ec.net/action/index.html>

環境全般、省エネ情報

財団法人 省エネルギーセンター（ECCJ）

<http://www.eccj.or.jp>

E I C ネット（環境全般情報）

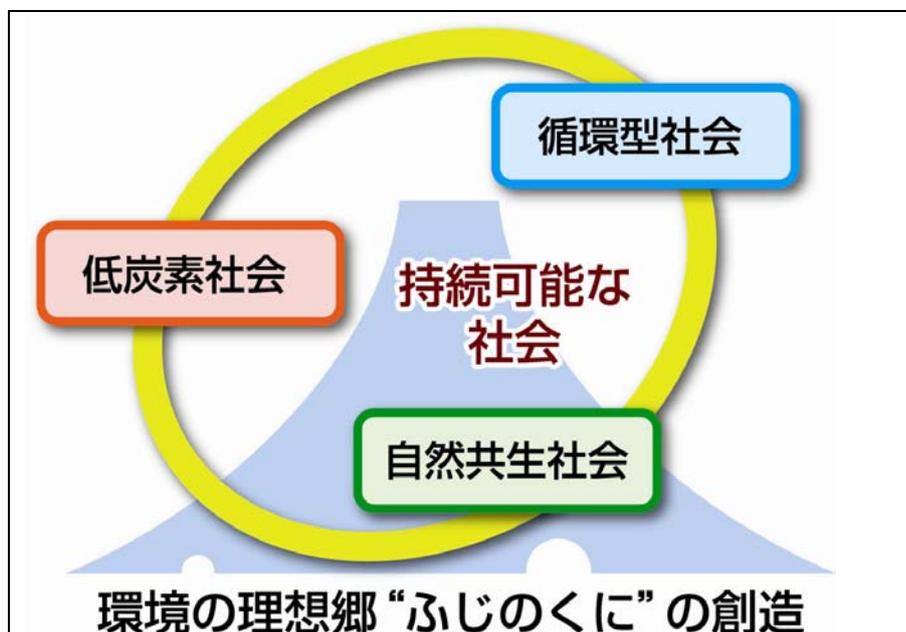
<http://www.eic.or.jp/>

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）

省エネアドバイス

（事業者のエネルギー消費量自己チェックやアドバイス、導入事例等）

<http://www.epoc.gr.jp/syoene/>



静岡県 暮らし・環境部 環境局 環境政策課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
TEL : 054-221-2208・3781
FAX : 054-221-2940
E-Mail : kankyou_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp